

# 沼田市一般会計総額221億1,426万円

## 対前年度比9.9%減

沼田市の新年度予算総額は、379億1,923万9千円（前年度比3.3%減）で、一般会計の予算総額は、前年度比9.9%減の221億1,426万円です。

主な歳入では、市税は0.6%増の61億2,607万2千円、合併後の減額が終わり、合併特例債などの交付税算入措置額が増えた地方交付税は6.1%増の58億1,941万2千円、市債は53.3%減の20億7,663万9千円です。主な歳出では、総務費が12.5%の増で29億4,211万1千円、民生費が1.2%増の64億6,085万1千円、学校給食センター建設・利南運動公園整備が終了する教育費が49.7%減の26億8,098万2千円です。

性質別歳出予算で合併特例債を活用した大型建設事業が一段落したので、普通建設事業費が前年比63.1%減の17億6,215万3千円です。

横山市長は、これらの状況から新年度予算提案では「ハードからソフトへ」の転換の年と位置付けています。



# 地方債（借金）残額は292億7,600万円に

## 実質額は前年比4%増の78億1,100万円

ここ数年合併特例債を全額活用してきた影響で、新年度の地方債残高は過去最高の292億7,600万円になります。しかし返済額の70%を地方交付税が負担する合併特例債・過疎債・緊急防災・減災事業債などの合計金額が114億1,200万円、100%交付税が負担する臨時財政対策債100億5,300万円、合計214億6,500万円は市の負担となりません。実質的な市の負担は78億1,100万円です。15年前に1市2村で合併した2005年度の189億8,100万円と比べても2分の1以下になっています。

しかし、交付税の負担として措置される額が大きくなると、なんにでも使っていることになっている地方交付税に「返済金」という用途が決まった額が算入されているので、実質に使用できる額は少なくなります。

# 給付型奨学金を実施へ

## ふるさとぬまた未来創造奨学金

従来の奨学金は、大学等を卒業すれば返済しなければならないので、若年労働者等に大きな負担となっていました。

日本共産党は、返済しなくても良い「給付型」の奨学金を実施するよう国や地方自治体に要求してきましたが、沼田市では、大学等を卒業後、市内に在住・就労するなどの条件はありますが、「給付型」の「ふるさとぬまた未来創造奨学金」を実施する提案を新年度に行い、次年度から実施する予定です。

この奨学金は、月額100,000円で給付期間は4年間、年間若干名を対象とします。対象となる人の要件や対象の学校なども決められているので、詳細は市教育委員会におたずね下さい。

# 中央公民館でまつりやフェスティバル



2月7～9日、中央公民館で第49回公民館まつり・第26回沼田市生涯学習フェスティバルが開催されました。

7日は、オープニングセレモニーに始まり、作品展示発表団体は22団体、舞台発表出演団体は24団体、お楽しみコーナーなど、9日のクロージングセレモニーまで、多くの市民が参加、作品鑑賞などに訪れました。



2020年2月16日 No.959

## いのさんニュース

発行所 沼田市下久屋町983 ☎23-1519

井之川博幸議員活動地域版 部内資料